

令和5年10月16日

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社 御中

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

代表理事 千葉 久

(北海道天塩郡豊富町字豊富西6条6丁目)

稚内そよ風の会

代表 平尾 護

(稚内市緑5丁目38-2)

日本野鳥の会 道北支部

支部長 有田 智彦

(北海道稚内市緑5丁目-27-8)

風力発電の真実を知る会

代表 佐々木 邦夫

(石狩市花川東1条2丁目76)

「(仮称) 宗谷丘陵南風力発電事業 計画段階環境配慮書」に対する意見書

貴社が作成されました、「(仮称) 宗谷丘陵南風力発電事業 計画段階環境配慮書」に対し、下記のとおり意見書を提出いたします。

■環境影響評価図書の縦覧

・周知方法

環境影響評価図書の縦覧と意見書の募集に係る周知は、関係機関のホームページ上で掲載されていますが、以前住民の認知度は低いままです。このため、回覧やポスター掲示、チラシ配布、関係者の協力を得て、より多くの人に周知するよう最大限の努力をすべきです。

・閲覧方法

貴社の環境影響評価図書はダウンロードや印刷ができません。数百ページの図書を縦覧場所、またはパソコン等で閲覧しながら意見書を作成することは、現実的な方法ではありません。縦覧期間が過ぎてしまうと環境影響評価図書と整合して実態を確認することもできません。図書の内容が実際の事業実施区域の状況と齟齬がないかを地域住民等が精査可能なことが、環境影響評価の信頼性を確保し、地域住民との合意形成を図るうえで不可欠です。このため、縦覧期間後も地域の図書館などで、環境影響評価図書を常時閲覧可能にすることに加えて、随時インターネットで閲覧とダウンロード、印刷を可能にすべきです。地域住民との合意形成を図るには、環境影響評価手続きにおける透明性と公平性の確保が不可欠で、その情報を誰もが利用することが重要です。また、地域の自然情報に詳しいの自然保護団体等に対して事前に相談し紙媒体の図書を提供し情報を共有すべきです。

■事業地の絞り込み

複数の候補地の中からより環境影響が少ない場所に事業実施想定区域を絞り込むのが環境影響評価配慮書の役割です。しかし、本事業は事業実施想定区域の絞り込みとして事業想定区域から保護区などを対象区域から除外したに過ぎず、複数の候補地の中から環境への影響を配慮したうえでの実質的な絞り込みが行われていません。このため、地域住民等は環境影響の観点から実施場所を絞ることができず適切な意見を述べることはできません。従って、複数地域に分けて案を設定し直すべきです。また、事業実施想定区域上に設定する以上、その区域のすべての地権者に事前に相談・説明すべきです。

事業実施想定区域から 1km 以内の設置除外は騒音などによる健康被害が懸念されるため 2 km 以内とすべきです。

■水源

事業実施想定区域内はサロベツ川天塩川・猿払 (KBA) に含まれ、生物多様性の観点から重要度の高い湿地 (河川) である声問川、猿骨川、猿払川、またサロベツ川の流域・水源に当たり、稚内市、豊富町、猿払村にあるサロベツ湿原、猿払原野、大沼の水源地域を含みます。3市町村の生活用水、湿原、水源への影響が懸念されるため、影響のない地域に事業実施想定区域を変更すべきです。

■森林資源

事業想定区域は植林を含むものの大半が森林であり、植生自然度が6以上の地域が多くを占め、切れ目のない大きな広がりを持った自然植生に当たり、ほぼ全域が保安林に指定されています。特に豊富町は山林地域の大半が同地域に含まれることとなります。また、風車建設が想定される尾根部の多くは自然植生です。ここに風車や道路が建設されると広大な地域が改変され、一塊としての稚内市、豊富町、猿払村の森林が分断され、広範囲に渡り分水嶺をまたぐ動植物の往来や分散を阻害します。反対に作業道は外来植物、外来動物、エゾシカなど有害在来種の進入路の回廊（コリドー）となり自然植生を始めとした生態系が大きく損なわれることが懸念されます。従って、尾根部や植生自然度が高い地域は同地域から除外すべきです。

■光害

事業実施想定区域周辺に光源がほぼありません。航空障害灯により夜行性の鳥類や昆虫・コウモリ類が誘引される可能性があるため、影響が少ない地域を事業区域として選定すべきです。

■景観

天気の良い日は日本海やオホーツク海岸沿いから宗谷丘陵の尾根部まで見渡すことができます。サロベツ湿原や猿払湿原の何もない雄大な景観を損なわないために、稜線から突き出て見える風発の建設は避けるべきです。

■魚類

事業実施想定区に含まれるサロベツ川・声問川・猿払川・猿骨川水系は絶滅危惧種イトウの国内最大の産卵河川であり、漁業資源であるサケ・サクラマス・カラフトマスの産卵河川でもあります。これらの河川の水源地における改変は避けるべきです。天塩川支流のサロベツ川の水源地は事業想定区域に含まれるため、天塩町及び北るもい漁協に事業について相談すべきです。

■鳥類

- ・オジロワシ、オオワシ

事業実施想定区域の西側地域にはオジロワシが繁殖している可能性があり、初冬及び早春にはオジロワシ・オオワシが渡りで利用しますので、これらに該当する地域では風車建設を避けるべきです。

- ・その他森林性鳥類

事業実施想定区域にはクマゲラ、エゾライチョウが繁殖しています。特に作業道路の建設によりエゾライチョウの捕食者が侵入し易くなることは減少傾向にあるエゾライチョウの生息にとって脅威となります。このため、繁殖地周辺における改変は避けるべきです。

■累積的影響

近隣には多くの風力発電施設が計画されていますので、これらの累積的影響についても評価すべきです。

■地域協議会の設置と情報の公開

環境影響評価の情報を地域の利害関係者が参加する開かれた場で共有し意見を述べることのできる協議会を定期的を開催すべきです。

以上